

拝啓 すすきの穂が夕映えに輝く季節となり、吉本様にはご退院の御事、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

晴れて全快を迎えられた吉本様ご自身はもとより、献身的なご看護を続けておられた奥様はじめご家族の皆様には、さぞや言い尽せぬ歡喜に満ち満ちていらつしやることと拝察する次第です。

若輩の小生から申し上げるのは僭越とは存じますが、今後は奥様のお言い付けを十分に守り、ご健康を第一にご活躍されるようお願い申し上げます。これは小生のみのお思いではなく、吉本様を敬愛する多くの者たちの切なる願いでございます。

まずは略儀ながら寸緒にてご退院のお祝いまで申し上げます。敬具